

JGFA NEWS

FRESHWATER, SALTWATER AND FLY FISHING

IS IT SPRING ISSUE

常見英彦さんインタビュー

Hidehiko Tsunemi Interview

イベントレポート

Event Reports

記録報告

New Japan/World Records

オールジャパン GFC 結果

All Japan Game Fishing Contest

メーターオーバークラブ計測法

New Measuring Method of "M Over Club"

シーバス・フォトコンテスト

Sea Bass Photo Contest

And more

ドナルド・トランプが米国大統領に再選される時代ですから、いったい何が将来的に起きるのかまったく見通すことはできませんが、何かの終焉を物語っている現象だとは思います。次の時代に大いなる期待を持ちたいのですが、その際には「私たちのことが最優先！」という恐ろしいキーフレーズを、無条件に大声で唱える危険を振り返らなければならないでしょう。資本主義をつきつめていくと独裁制に接近していくという事実も驚きです。無理解、不寛容、無条件、最優先。極端な言葉が飛び交っていますが、そこから何が生まれてくるのか、たいへんに不穏です。

私たちが遊ぶ自然の世界は、国境などのボーダーでとりあえず事務的に分断されてはいますが、ひとつながりのものです。誰かがそこで無理解や独占欲によって不当な行為を行えば、それは関係者全員にとっての不利益となって戻ってきます。すべてのことがつながっていて、あらゆることがすべてに関係し、互いに影響を及ぼす。生態学の世界を覗いたことがある人なら、徹底的に叩き込まれる基本でしょう。あまりに世界が縦割りになりすぎて、ある分野で得られた貴重な知見が、別の分野、この場合は政治や経済の現場に取り込まれないことが、現代社会の問題点の1つでもあると思います。人間の生存にとって決定的に重要なものの独占を許容しない「コモンズ」の考え方は、直近では斎藤幸平さんの本『人新世』の資本論』に詳しく紹介されていますが、私たち釣り人も、魚や環境という、私たちにとって大事な富をどう共有するかというそれぞれの考え方を、フィールドに出たびに試されているのだという気がします。

ジャパンゲームフィッシュ協会
専務理事 東 知憲



釣りフェス2025 横浜レポート

釣りフェス
Fishing Fest.2025 in YOKOHAMA

ジャパンゲームフィッシュ協会(JGFA)は、「魚資源の大切さ」「ルールある釣りの価値」「仲間を持つことの楽しさ」を伝えるために、1月17日(金)～19日(日)に開催された国内最大級の釣りイベント「釣りフェス2025」に出展し、スローガン「いい釣りをいつまでも」を来場者の皆様と共有することができました。

＜パネル展示＞

- 2024年日本記録認定者全員の写真
- タグ&リリース(標識放流)の再捕データからわかる成長と移動データ
- バッゲリミットの考え方と魚にやさしいリリースの仕方
- 2025年開催予定のイベント案内
- JGFAパネルクイズ＆アンケート
- ブースのパネル展示に答えが隠れているクイズと簡単なアンケートを実施し、参加いただいた方には限定ステッカーをプレゼントしました。多くの方々から「タグ&リリース活動は興味深いですね」「日本記録を狙ってみたいです」といった声をいただき、活動内容のPRができたと思います。
- 2024年に実施したアンケートによると、バッゲリミットという概念・行為をご存じない人が76%、理解されている人は20%でした。バッゲリミットが必要だと感じた人は87%、実践しようと思った人は93%に上りました。
- 2025年は、JGFAの活動内容を知ってもらうことに重点を置き、アンケートとクイズ形式にしました。ご協力いただいた543名のうち、バッゲリミットをご存じない人は63%となり、活動内容を知った上でリリースをしようと思った人が95%に上りました。理由としては資源保護、魚を大きく育てるため、長く釣りを楽しむため、という意見が多く、2024年よりも釣魚保全への意識が高まっていることがわかりました。
- タグ&リリースのことを知っているもしくは興味があるという人は66%に達し、日本記録に興味がある／取りたいという方は全体の72%を占めました。魚種によっては日本記録、オールタックル部門にはまだ空白があり、スペシャルクラブなどもありますので挑戦していただきたいです。ルールをよく理解し、魚に対してフェアなファイトができる備えがあれば、記録を手に入れる可能性は高まります。

＜お魚ソフビ人形づくり＞

お子様やファミリー(もちろん大人の方も!)を対象に、魚や海の生物のソフビづくりを体験していただきました。持ち帰れるソフビは1つとしてバッゲリミットの概念を体験できるコーナーとし、それ以上はリリースしました。「これで次の友達が遊べるね」とお伝えすることで、持続可能な釣りの形を学んでいただけたと思います。キッズコーナーの参加者数は、LIN登録数でカウントしたところ342名以上、実際にはもっと多くの方々にご参加いただきました。

＜トークショー＞

アンバサダーの皆様によるトークショーを開催し、JGFAとご自身の関わりや楽しい話、「魚が減っている」「今後どのようにして魚釣りを守るか」などについてお話しいただきました。トークショーの様子はInstagramからご覧いただけます。



＜トークショースケジュール＞

- 1/18(土)
 - 12:00～12:30 村田基【JGFAの活動と釣りの楽しさ】
 - 13:00～13:30 徳永兼三【遊漁のこれからについて】
- 1/19(日)
 - 11:00～11:30 北村秀行【海流の変化による釣果の変動】
 - 12:00～12:30 村田基【JGFAの活動と釣りの楽しさ】

多くの皆様に耳を傾けていただき、『いい釣りをいつまでも』と一緒に考えることができ、JGFAの活動内容を知っていただく良い機会となりました。素晴らしい釣りをずっと楽しむためには、次世代を担う子供たちにも釣りの魅力を伝えていくことが大切です。JGFAでは、持続可能な釣りの形を学び、楽しんでいただけるようなイベントや活動を積極的に行っていきます。未来の釣り人たちが、自然との共生を考えながら素晴らしい釣りを楽しめる環境を整えるため、これからもご協力をお願いいたします。スタッフ・アンバサダーの皆様、JGFAブースにお越しいただいた皆様、誠にありがとうございました。共に素晴らしい釣りの未来を創り上げていきましょう！



SEABASS C&R PHOTO CONTEST RESULT シーバスC&Rフォトコン 結果発表！

2024年11月1日から12月31日にかけて全国で開催された「JGFA×VARIVAS シーバスC&Rフォトコンテスト」が終了、
総エントリー数は84件に達しました。

全国No.1の記録は、菊池川で釣られた叉長92cmのシーバスです！

詳細および結果ダウンロードは、JGFAウェブサイトのHOT NEWS コーナーからどうぞ！



【1】ルアー全国総合優勝

12月15日、九州&沖縄ブロックのごり猿さんが菊池川で叉長92cmの大物をキャッチしました！



【3】北海道&東北&信越・男性の部 優勝

11月13日、県北サーフで叉長84cmの魚を釣り上げたユーキさん。「やっと1本キャッチすることが出来ました!!!!」と喜びのコメントをいただきました



【2】フライ全国総合優勝

11月10日、大阪市北港で小西雅樹さんが叉長70cmの魚を釣り上げ、フライ全国優勝に輝きました！



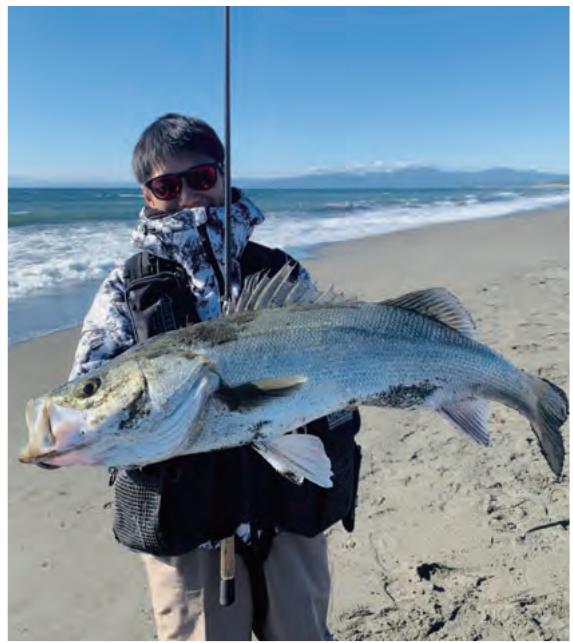
【4】関東&中部ブロック・男性の部 優勝

11月9日、東京湾で叉長86cmの魚を釣り上げた種田勢さんは総合2位を獲得しました



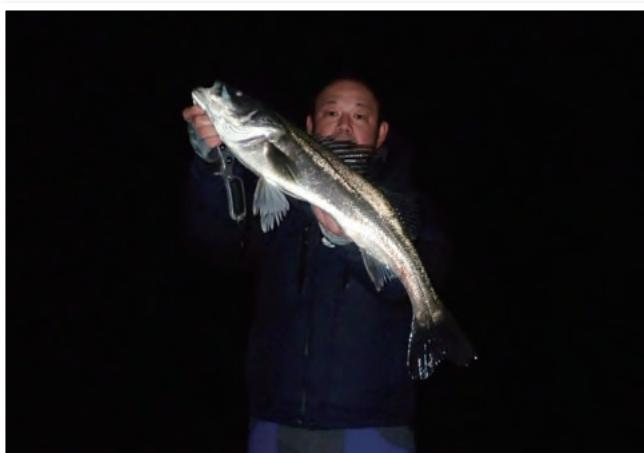
【5】関東&中部ブロック・女性の部 優勝

11月15日、東京湾でまいまいさんが叉長75cmの魚を釣り上げ、関東&中部・女性の1位に輝きました！



【6】関東&中部ブロック・ジュニアの部 優勝

12月15日、茅ヶ崎サーフで叉長78cmの魚を釣り上げ、ジュニアの部優勝を果たした矢部遼さんからは「湘南で念願のランカーシーバスを釣ることが出来ました！デイゲームだったのでとても嬉しいです」とのコメントをいただきました



【7】北陸&山陰ブロック・男性の部 優勝

12月11日、石川県大野川で叉長80cmの魚を釣り上げた橋宏樹さんは、北陸&山陰ブロックで優勝に輝きました。これで同ブロックの3連覇を達成しました！



【8】近畿&山陽&四国ブロック・男性の部 優勝

11月30日、西宇和郡伊方町で叉長82cmの魚を釣り上げた首藤康裕さん。こちらのヒラスズキはオールタックルレンジス部門で日本記録として認定されました



【9】九州&沖縄ブロック・ジュニアの部 優勝

11月30日、大分川で叉長60cmの魚を釣り上げて自身の記録を更新し、2連覇を達成しました兵頭羚王さんは「これからも頑張ります！」と力強くコメントされています

釣りの力を信じる 常見英彦さんインタビュー

55年の歴史を持つ日本釣振興会(日釣振)とは、ジャパンゲームフィッシュ協会と同じ建物に事務局を構え、ありとあらゆるスタイル、テクニック、タックルを包含する日本の釣りを広め、環境を守り、魚を増やしていくことを目指す公益財団法人である。昨年会長に就任された常見英彦さんは、インターナショナル・ゲームフィッシュ協会 (IGFA) の釣り殿堂入りを果たした故常見保彦氏のお孫さんであり、(株)ツネミの社長。当協会とも深いご縁がある。現代の釣りがいま、どのような役割を果たしており、これから何ができるか、お話を伺った。



協会事務局(以下**JG**)：株式会社ツネミさんといえば、まったく新しい「スポーツフィッシング」を提唱し、私たちにはまさにルアーフィッシングとほぼイコールの存在だったのですが、その駆動力であったお祖父さまについて、簡単にお話を願えますでしょうか。

常見英彦(以下**HT**)：祖父である保彦は、釣具問屋に丁稚奉公で入って商売の基本を学ぶ傍ら、自身も和竿を使った釣りをはじめ様々なジャンルの釣りを楽しんだようです。独立し弊社を創業してからは、自社の事だけでなく釣り界を取り巻く環境の変化に対応するさまざまな動きを牽引してきました。

JG：そうですね。一般来場者を入れた釣り具の見本市も、お祖父様の旗振りで実現したと伺っています。

HT：はい、祖父が主催者である東京釣用品協同組合の理事長として晴海で開催した当時は、最大で13万人の来場があったと記録にあります。フィッシングショーは、1962年に弊社が本社(上野)近くにあった上野洋裁学校の施設で行った「釣用品見本市」が原型なんです。その翌年には大手町のサンケイビル、都立産業会館を経て平和島の東京流通センター、晴海、幕張と続きました。

JG：道具の「感触」などは文字や映像情報では伝わりにくく、やはり現物を確認するのが一番ですから、現場での展示が親切ですし、必要だと思います。

HT：フィッシングショーが釣りシーズンの幕開け、という感じもありますしね。私

が中学生のときに、米国のAFTMAショーに連れて行ってもらったことがあります、感動しましたね。

JG：ご感想はどんなものでした？

HT：まずはスケールの大きさが印象的で、国を挙げて釣りを応援する、釣りに対するステータスが高いなあと思いました。弊社は、日本にルアーやフライフィッシングなど、スポーツフィッシングという概念がない時代、具体的には昭和43年頃から、フィンランドのラパラ、フランスのメップスやルブレックス、米国のダーデブルやボーマー、フレッドアーボガストなどのルアーモデルを総代理店として扱ってきました。ミッセルやアブも販売しました。当社が「ルアーフィッシングのパイオニア」を自称しているのは、そんな経緯です。

JG：もちろん、日本の釣りや釣具もずっと扱われてきたわけですよね？

HT：はい。総合問屋でしたので、最初の頃は和竿も扱っていたんですよ。幸いなことに、日本の大手メーカーさんをはじめとして多くのメーカーさんとお取引をいただけるようになりました。

JG：日本釣振興会の立ち上げに関しては、どんな経緯が？

HT：ご承知のとおり、公害や環境問題が広く表面化したのが昭和40年代でしたから、釣り界としてもそれらに対応しなければならないということで、祖父らが日本釣振興会の立ち上げを提唱し、実際に創立されたのが昭和45年のことです。設立準備委員会には、有識者の方、政界や行政の方、産業界や財界の方に加わってい

ただいたと聞いています。祖父は、スポーツフィッシングという釣りの形を業務を通じて日本に紹介し、健全なレジャーとしての釣りの普及を行い、釣り人の意見を発信する組織を作り上げたということで、インターナショナル・ゲームフィッシュ協会の「釣り殿堂」にも加えていただけたのだと考えております。私も、実際に表彰式に出席させていただき、趣味としての釣りがとても大規模に、国からの力強い支援を受けながら楽しめているということを再認識しましたし、殿堂に入つていらっしゃる多くの皆様の経歴や貢献に関しても強い感銘を受けました。あの施設(ミズーリ州スプリングフィールドにある「ワンダーランド・オブ・ワイルドライフ博物館／水族館」に併設された釣り殿堂)は、日本の釣り界の人たちにもぜひ見ていただきたいと思います。祖父は、私にとってとても大きな存在でした。日釣振の会長という立場になった今は、祖父の「日本を世界に冠たる釣り天国に」という遺志をふまえ、活動していきたいと思っています。

JG：お祖父様の言葉のなかで、よくおぼえていらっしゃるものはありますか？

HT：釣りは文化なり、との祖父の言葉は、当社のモットー的に使っていたこともありました。道具もテクニックも考え方も、守り育てて継承していくべきだということと思っています。

もう一つは祖父の座右の銘でもあった「我以外皆我師」です。自分がどんな立場になろうが、常に謙虚な気持ちを忘れずに周りの方々の意見を聞き、勉強、精進



水族館に併設される「IGFA釣り殿堂」。実寸のスポーツフィッシングボート、回遊水槽、魚のレプリカなどにぐるりと囲まれるイベントスペースがある



今年殿堂入りする司会役のアンディ・ミルさんらと巨大水槽の前で記念撮影。現在この額はツネミ社応接室に飾られている

することの大切さを教えられました。

JG:文字や映像としてすくい上げられないままに絶えてしまった釣り方、道具なども多数あるでしょうからね。

HT:足元の話でいいますと、江戸和竿の世界でも職人さんが減ってきている。伝統工芸品は、だいたいそういう傾向にありますよね。日本のものづくりが世界で認知されはじめているなかで、いかに伝統的な技を継承していくかが大切になってくると思います。江戸和竿に関して言えば2024年、組合の理事長である竿中親方(中台泰夫さん)が国の伝統工芸士に選ばれたことは大変嬉しくもあり、次世代に繋がる素晴らしいことだったと思います。

JG:次世代の職人は養成されているんでしょうか?

HT:江戸和竿の組合にも、若手の加入がすこしずつ増えていて、いまは4~5人いらっしゃるんじゃないでしょうか。皆さん優秀で名門の跡継ぎというよりは、弟子修行を経て独立した人たちです。釣りの文化・伝統を後世に伝承する業務も、日釣振の仕事のなかに入ると思っています。

JG:それは意外でした…歴史を考えると、これまで何人も伝統工芸士さんがいらっしゃるのかと。播州毛鉤の職人さん、紀州へら竿の職人さんたちは伝統工芸士がすでにいらっしゃると思いましたが、フライロッドの世界にも、秋田の川連町に渋谷直人さんという人がいて、漆塗りが家業なので工芸士認定を受けているんです。六角の竹竿なんですが、世界から引き合いがありますよ。日釣振なんです

が、常見さんが会長に就任された新体制で、どんなビジョンを持ち、なにを目指して進れますか?

HT:「ビジョン」というのはおこがましいですが、55年の歴史のなかで、魚族資源の保護・増殖、水辺環境の美化・保全、釣りの普及・振興という3つの大きな柱を立てて事業活動を行ってきました。これらは引き続き進めていきますが、ここ数年のなかで始まってきて、さらに強化していくたい事業の1つに、釣りを通じた環境学習があります。現代社会においては、さまざまな要因によってお子さんたちが野外活動を体験する機会が減ってきているのは事実であり、生き物に触れる機会も多くありません。そこで5年前から、神奈川県の小学校を中心にこの学習を展開しています。

JG:学校の時間割のなかに「釣り体験」のような科目を設けてもらうわけですか?

HT:授業のなかで1時間程度を頂いて、生き物のこと、環境の問題、ごみの話などを座学としてさせていただき、その後はフィールドワークで生き物に触れ合う機会や釣りの体験などをもらいます。今年は、これを全国展開していきたいと思い、これまでの神奈川県、埼玉県、東京都などに加え、福岡県、山口県、兵庫県などで行なうことが決まっています。私の地元の東京都台東区の小学校でも、区長にご提案の結果、首都圏初の試みとして、座学と隅田川のハゼ釣りを組み合わせて行なう予定です。

JG:ハゼですか! お子様にぴったりの



国の伝統工芸士認定のための実地面談。江戸和竿師である中台泰夫さんから、ご本人の工房で話を伺う

釣り物ですね。

HT:ハイ、是非都会に住む子供たちにも野外体験を楽しんでもらいたいと思っています。ところで不登校や引きこもりなど生きづらさを感じている方々がいま日本国内でどれくらいいると思われますか?

JG:激増しているだろうという気持ちは実感としてありますが、具体的な数字は想像がつきませんね。

HT:「不登校」の定義は、心理的、身体的、社会的要因などによって、欠席が年間30日を超える生徒だということですが、2023年度推計で全国で34万人いるとのことです。

JG:いまだに増加傾向にあるのでしょうか?

HT:11年連続で増えていて、この5年で



横浜市立篠原小学校における、釣りを通した環境体験の座学。講堂を使い、1時間にわたって実施した

倍増しているようです。生産年齢人口、つまり15歳から65歳の人のうち、引きこもってしまっている人は全国で146万人。人手不足が叫ばれる中で、生きづらさを感じて仕事も学業もできない人たちがそれくらいいる。こういった人たちにどういう対処ができるだろうと考える中で…

JG:釣りが1つのきっかけを提供できるのではないかと考えられた?

HT:はい。中学校の保健体育の教師を長年務められていた議員さんがいらっしゃいまして、その先生がいらした学校は不登校ゼロも達成しているんですが、経験上、不登校や引きこもりの人たちは野外体験がとても少ないと気づいたというんです。まずそこを経験させたい、そのきっかけとして釣りは役に立つのではないか、というので先生から日釣振にお話がありました。そこで実は昨年から、北海道、福岡、埼玉、そして東京でその取り組みを始めています。私も秋川渓谷で開催した「釣り教室」に足を運びましたが、当日は朝から雨が降る天候の中、参加者の皆さんには集合時間前に全員が集まり楽しみにされていました。マスを釣ってもらい、それからバーベキューという段取りで、最初は皆さん表情も硬かったです。魚が釣れるたびに笑顔が溢れました。同行された施設の方に話を聞くと、魚を自分で釣ったという行為で得られるような成功体験や、様々な人との出会いが、引きこもりの人たちにはとっても大事だと

いうことでした。釣りの力を活用した社会的意義のある事業の可能性が、そこにあるんですね。また、これは日釣振ではなく、私が所属するロータリークラブの活動なのですが、発達障害などを抱えた児童を対象にした特別支援学級のある小中学校が、台東区に6つあります。今回は金竜小学校から14名の児童とご父兄が参加され、当社が埼玉県で運営しているマス釣り場(フィッシングステージ彩の国)に行ってもらい、日釣振の埼玉県支部や、釣りインストラクター連絡機構の皆様にもご協力いただき釣りを体験してもらうというイベントをやりました。お子さんたちはとても楽しそうでしたが、ご父兄や先生方もたいへん喜ばれていました。

先ほどお話した議員さんは参議院議員の下野六太さんとおっしゃるんですが、下野先生がこの3月に参議院の予算委員会で、膨大な数にのぼる引きこもりの人たちを国として対策するべきではないか、という質問をされたんです。すると石破首相が「世の中にいろんな新聞がありますが、釣具新聞というものもあるんですね。下野議員の働きかけで日本釣振興会が中心となって、全国何か所で釣りを体験してもらうことでひきこもりや不登校をなくそうという記事を読みました。下野さんは本当に良い事をやられていますね。私はあまりやったことがないですが、釣りって本当にいいですね」という答弁をされました。下野先生ご本人は、まさか日釣

振といっしょに行った釣り教室の話が出てくるとは予想されなかつたので驚かれたとのことですが、「政府としても、そのような対策は前向きに考えていくたい」との回答まで、首相から引き出せたのは非常に素晴らしい、励みになることでした。

JG:釣りという多面的な遊びが持つ力を、政府も認めたということになりますね。

HT:そうであればとてもありがたいことですね。話は変わりますが私は、昨年の会長就任以来、全国の支部訪問をしています。各地の抱える課題を吸い上げるためです。日釣振は都道府県すべてに支部がありますが、大都市はいざ知らず、地方になるとマンパワーや運営資金不足の問題が大きくなります。組織の活性化のためには、まず細部の理解からだと考え、時間が取れれば地方に足を運んでいます。組織力の充実という観点からは一般の釣り人にも「個人会員」になっていただきたいと思っています。

JG:えっ、個人会員という枠組みがあるんですか?

HT:はい。日本釣振興会は、業界にかかるメーカー、問屋、小売店、団体などが会員になっていると思われていますが、年会費2千円の個人会員という制度もあります。現在は、会員企業の従業員さんが入ってもらっているというケースが大半です。しかし、日本の釣りをよくするためにいろいろ活動していることを納得していただいたうえで、個人会員になってくれる方々



三浦市立名向小学校における、釣りのフィールドワーク。諸磯漁港を使って行ったもの



マス釣り場と併設のバーベキュー場を借りて実施した、青少年自立支援センターの利用者の方々を対象とした野外体験

を増やすことも大切であると考えています。JGFA会員の皆様にも、ぜひ日釣振の会員になってもらいたいです。

JG:釣りの持つ現実的なストレス軽減の効能と、健全で創造的な遊びとしての存在意義は、現代こそ強調されていいと思います。

HT:「一生幸せになりたければ、釣りをおぼえなさい」という中国の言葉もあります。IT業界の皆さんはとてもストレスフルな環境で仕事をされていると伺っていますが、そんな方々に向けて広報していくと良いかも知れませんね。野外で魚を釣るという行為が、心身のためになると広く知られれば、釣りの社会的な受容度もさらに上がるんじゃないでしょうか。

JG:当協会も、記録管理はとうぜん主力業務として継続されるのですが、それだけではなくプロセスを重視、釣りの多方面にわたる潜在的パワーを皆さんに知っていただきたいと思い、お子様対象の教室なども展開しています。

HT:単に業界のためだけという狭い視野ではいけませんね。社会的な強い要請

があると実感しています。

JG:都会は周辺部からまだまだ人を吸収して拡大していますね。これまでの釣りの始めかたというのは、圧倒的に親から教わった、連れて行かれたというケースが多いと思うのですが、親御さん自身が都会に暮らしていれば、なかなか釣りをやる機会もない。これではお子さんに釣りを始めてもらうのは難しいですね。町中のちいさな小売店さんは急速に消滅しつつありますから、気が向いてふらっと覗いてみて親身に手ほどきをしてもらうということもできない。私の子どもたちは虫が好きなのですが、やはり現場での取り方がわからない。取っ掛かりになるもの、踏み出しやすい第一のステップが、なにか必要なんだと思います。

HT:先程申し上げました「釣りを通じた環境学習」においても、父兄は釣りを体験していないことを前提に、子どもたちが学校のカリキュラムとして実地体験をしてもらうというのは貴重です。釣り教室を開催しても、そこにエントリーしてくるのは、すでに興味がある人たちですからね。し

かしいずれにせよ、釣りに対してもいい意味でフォローの風が吹きはじめているかと思うので、これまで以上にきちんと、釣りの魅力や効能、楽しさやすばらしさを発信していく必要があると考えています。

JG:おっしゃるとおりのことを、私たちも実感しています。

HT:学校環境を見てみると、先生方の労務環境のネックになってきたのが部活動ですよね。顧問になると土日返上はあたりまえ、残業は当然。それを受けて部活は民営化しようという動きも出てきたのですが、そうなると、既存スポーツの競技人口減少は避けられないでしょう。でも、釣りはそもそも部活動としてほとんど存在しないですから、ゼロスタートなんです。茨城県の美浦村では、地域おこし協力隊の村川勇介さんが代表になり、小学生から高校生までを対象に、村から委託され、教育委員会が関わり、国も資金援助をする「公認地域クラブ」の1つとして美浦フィッシングクラブを運営しています。学校の課外活動として委託業者を使うこのフォーマットは、こと釣りに関しては大きな可能性を秘めていると感じます。

JG:年齢を横断するコミュニティは、とくに若者の間では作りにくい時代になっていますから、歓迎したいですね。釣り場にいたら常連のおじさんが教えてくれる、普段は気難しそうな釣具屋の親父がじつは親切に仕掛けを作ってくれる、なんて今はあんまりない状況でしょうから。

HT:教える人も整備していく必要がありますね。既存の「釣りインストラクター制度」もブラッシュアップし、全日本釣り団体協議会やJGFAさんなどの各種団体と連携を緊密にとりながら、人材の養成にも取り組みたいと思っています。

JG:私たちのレーダーにかかるてこない活動が各地で展開していることを教えていただき、ありがとうございます。

HT:教育の現場も変わって欲しいです。「良い子は水辺に近づかないようにしましょう」ではなく、水辺の環境や危険性も含めて個々で考える力を養う、生き物の大切さを知るなど、釣りが持つ青少年の健全育成ポテンシャルを是非活用してもらいたいと思います。

(2025年3月 株式会社ツネミ本社において収録)

NEW JAPAN RECORD GALLERY

WR =世界記録 CR =キャッチ&リリース TR =タグ&リリース AL =オールタックル・レンゲス記録 FAL =オールタックル・フライ・レンゲス記録 W =女性 J =ジュニア記録

※アカメ、イトウなどの環境省レッドデータブック記載種は、リリース前提での記録申請受付となります。

※コクチバスなどの外来魚の申請は外来生物法の規定にそって受け付けます。外来生物法では規定していないキャッチ&リリースについては、各都道府県でこれを禁じている水域もあります。持ち出しを禁止しているケースもありますので、これらに従うことといたします(2016年7月5日JGFA理事会決定)。

※タイリクスズキに関しては、オールタックル部門および10ポンドシーバスクラブ、年間フィッシングコンテストの対象として申請を受け付けることになりました(2020年4月1日より)。

お願い:記録申請時は、書類、紙焼き写真とともに高画質の写真データもご提出を!
大型魚のデータをできるだけ正確に保存するためですので、ご協力をお願いいたします。メディアの形は問いません。

OFF SHORE <船からの釣り>

<ボラ> MULLET, striped / *Mugil cephalus cephalus*

●M-6kg(12lb)クラス ●2.25kg ●山口県山口市今津川 ●2024-10-6 ●田村 純一 ●個人会員 ●第二田村丸

CR

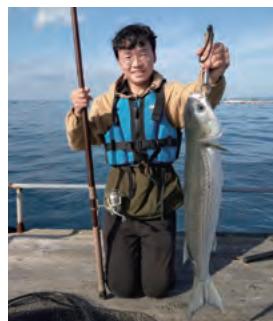
<ボラ> MULLET, striped / *Mugil cephalus cephalus*

●M-4kg(8lb)クラス ●4.21kg ●千葉県南房総市富浦沖 ●2024-12-5 ●高橋 直路 ●個人会員 ●富浦漁協イカダ



CR

田村 純一 <ボラ 2.25kg>
フグ地獄でした。苦労してなんとか1匹



高橋 直路 <ボラ 4.21kg>
オキアミを餌に浮き釣りでボラを狙った。撒き餌には反応するものの刺し餌は食わず、タナを変えたり遠投したりして1時間戦闘苦闘

SHORE <岸(磯)からの釣り>

<バラフエダイ> SNAPPER, twospot red / *Lutjanus bohar*

●M-24kg(50lb)クラス ●4.40kg ●東京都小笠原母島列島ヨツリ根 ●2024-9-23 ●前田 穢 ●個人会員

CR

<カスミアジ> TREVALLY, bluefin / *Caranx melampygus*

●M-24kg(50lb)クラス ●0.51kg ●鹿児島県大島郡瀬戸内町久根津 ●2024-11-7 ●重武 凪 ●ファミリー会員

<イシダイ> PARROTPERCH, Japanese / *Oplegnathus fasciatus*

●M-4kg(8lb)クラス ●2.63kg ●大分県大分市大在坂ノ市沖 縦一文字 ●2024-10-18 ●財前 雄一郎 ●個人会員

TR

<クロダイ> PORGY, black / *Acanthopagrus schlegeli*

●M-1kg(2lb)クラス ●2.75kg ●和歌山県南紀方面 ●2025-1-24 ●原澤 平 ●個人会員

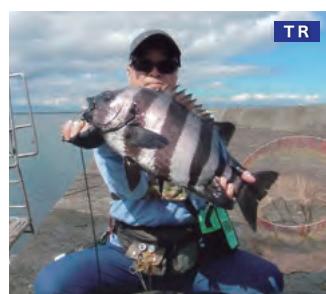
<ミナミクロダイ> SEABREAM, Okinawa / *Acanthopagrus sivicolus*

●W-24kg(50lb)クラス ●2.12kg ●鹿児島県大島郡瀬戸内町久根津 ●2024-11-7 ●重武 茉奈香 ●ファミリー会員

W



CR



TR

財前 雄一郎
<イシダイ 2.63kg>
「自己記録更新を狙ってイシダイ釣り。一投目から『ゴン! ギュイーン!』。前回より重い引きを楽しみ、タモ入れ『やったぜ!』大切にしたいですね、ポイントもそして魚もね!」



原澤 平 <クロダイ 2.75kg>
やたら引かない個体で助かった

前田 穢 <バラフエダイ 4.40kg>
バイト後に足元に突っこまれ、リーダーがボロボロになりました

FRESHWATER FISHING <淡水の釣り>

<ハクレン> CARP, silver / *Hypophthalmichthys molitrix*

●M-37kg(80lb)クラス ●10.87kg ●埼玉県荒川 ●2024-11-3 ●竹内 尚哉 ●個人会員

CR

<ハクレン> CARP, silver / *Hypophthalmichthys molitrix*

●M-3kg(6lb)クラス ●7.23kg ●埼玉県荒川 ●2024-11-14 ●椎名 幹 ●マーメイドアングラーズクラブ

CR

<ハクレン> CARP, silver / *Hypophthalmichthys molitrix*

●M-1kg(2lb)クラス ●8.09kg ●埼玉県荒川 ●2024-12-9 ●竹内 尚哉 ●個人会員

CR

<ハクレン> CARP, silver / *Hypophthalmichthys molitrix*

●M-8kg(16lb)クラス ●9.23kg ●埼玉県荒川 ●2024-12-12 ●竹内 尚哉 ●個人会員

CR

<ハクレン> CARP, silver / *Hypophthalmichthys molitrix*

●M-2kg(4lb)クラス ●7.16kg ●埼玉県荒川 ●2024-12-24 ●竹内 尚哉 ●個人会員

CR



竹内 尚哉 <ハクレン 10.87kg>

当日はハクレン師が12人にヘラ師も多数いたが、状況も良く数釣りモード。私の釣果はハクレン10尾というツ抜け達成に加えて10kgオーバーと、最高の釣りができた



椎名 幹 <ハクレン 7.23kg>

想像以上にアッサリ上がってあっけなかった

SALTWATER FLY FISHING <海水のフライフィッシング>

<クロダイ> PORGY, black / *Acanthopagrus schlegeli*

●W-1kg(2lb)クラス ●1.13kg ●山口県山口市今津川 ●2024-10-5 ●山本 蒼美 ●個人会員

W CR

<クロダイ> PORGY, black / *Acanthopagrus schlegeli*

●W-2kg(4lb)クラス ●0.98kg ●山口県山口市今津川 ●2024-10-5 ●山本 蒼美 ●個人会員

W CR

<マルコパン> POMPANO, snubnose / *Trachinotus blochii*

●M-10kg(20lb)クラス ●6.62kg ●沖縄県宮古島 ●2024-4-14 ●松本 利幸 ●レインボーキャブ

WR CR

<ロウニンアジ> TREVALLY, giant / *Caranx ignobilis*

●M-3kg(6lb)クラス ●1.49kg ●山口県高田川 ●2024-12-1 ●田村 純一 ●個人会員

CR



山本 蒼美 <クロダイ 1.13kg>

クロダイ2匹目を釣った！ フライ釣り、難しいけど楽しい！



松本 利幸 <マルコパン 6.62kg>

試行錯誤の末に、やっと手にすることができる。宮古島の海に感謝！



田村 純一 <ロウニンアジ 1.49kg>

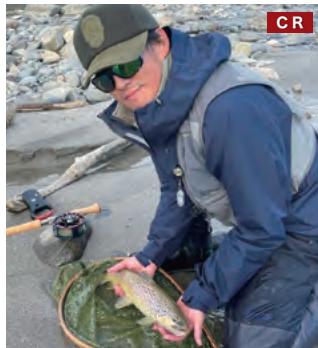
ナイスファイトだった。昨シーズンから通って地形を把握していたので迷わずファイトできた

FRESHWATER FLY FISHING <淡水のフライフィッシング>

<ブラウントラウト> TROUT, brown / *Salmo trutta*

●M-8kg(16lb)クラス ●0.95kg ●長野県犀川 ●2024-11-23 ●寺本 一道 ●個人会員

CR



寺本 一道 <ブラウントラウト 0.95kg>

薄濁りの中、左岸からシングルスペイキャストでアプローチ。フライが犀川の流れに溶け込みヒットし、ビーチランディングでキャッチ。偉大なキャスターのおかげで達成できた、人生でもっとも感動する1本



ALL TACKLE <オールタックル日本記録>

<マルコパン> POMPANO, snubnosee / *Trachinotus blochii*

●オールタックル ●6.62kg ●沖縄県宮古島 ●2024-4-14 ●松本 利幸 ●レインボーキャブ

CR

<クロヒラアジ> TREVALLY, blue / *Carangoides ferdau*

●オールタックル ●1.26kg ●鹿児島県奄美大島 ●2024-10-8 ●諫山 綾香 ●個人会員

W

<ユメウメイロ> FUSILIER, redbelly yellowtail / *Caesio cuning*

●オールタックル ●0.75kg ●沖縄県名護湾沖 水深40m ●2024-10-23 ●浅野 俊吾 ●ファミリー会員 ●りょう丸

<ナミハタ> GROUPER, white-streaked / *Epinephelus ongus*

●オールタックル ●0.60kg ●沖縄県名護湾沖 水深40m ●2024-10-21 ●浅野 俊吾 ●ファミリー会員 ●りょう丸

<オキアジ> JACK, whitetongue / *Uraspis helvolia*

●オールタックル ●0.55kg ●沖縄県名護湾沖 水深40m ●2024-10-21 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●りょう丸

W

<ヒメテングハギ> UNICORNFISH, whitemargin / *Naso annulatus*

●オールタックル ●0.60kg ●沖縄県名護湾沖 水深40m ●2024-10-23 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●りょう丸

WR

<テングハギモドキ> UNICORNFISH, sleek / *Naso hexacanthus*

●オールタックル ●0.55kg ●沖縄県名護湾沖 水深40m ●2024-10-23 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●りょう丸

W

<ニセカンランハギ> SURGEONFISH, eyestripe / *Acanthurus dussumieri*

●オールタックル ●1.27kg ●鹿児島県喜界島 荒木中里海岸磯 ●2024-10-5 ●坂本 幸博 ●終身会員

CR

<リュウキュウアカヒメジ> GOATFISH, orange / *Mulloidichthys pfluegeri*

●オールタックル ●1.45kg ●鹿児島県喜界島 荒木沖 水深60m ●2024-10-6 ●坂本 幸博 ●終身会員 ●天人菊

<コクハンハタ> HIND,sixblotch / *Cephalopholis sexmaculata*

●オールタックル ●0.48kg ●沖縄県糸満沖 水深60m ●2024-10-20 ●坂本 幸博 ●終身会員 ●はなぶさ

WR

<ドクウツボ> MORAY, giant / *Gymnothorax javanicus*

●オールタックル ●12.40kg ●鹿児島県奄美市住用町 和瀬海岸 ●2024-10-7 ●重武 順 ●ファミリー会員

<アミメウツボ> WHIPRAY, pink / *Himantura fai*

●オールタックル ●2.53kg ●鹿児島県大島郡龍郷町 番屋漁港 ●2024-10-17 ●重武 順 ●ファミリー会員

WR

<オグロオトメエイ> PUFFER, stellate / *Synaphobranchus kaupii*

●オールタックル ●2.72kg ●鹿児島県奄美市 城海岸 ●2024-10-26 ●重武 順 ●ファミリー会員

<イラコアナゴ> EEL, Kaup's arrowtooth / *Arothron stellatus*

●オールタックル ●0.70kg ●神奈川県真鶴沖 ●2024-10-27 ●西野 勇馬 ●ファミリー会員 ●H2O

<オジサン> GOATFISH, manybar / *Parupeneus multifasciatus*

●オールタックル ●0.48kg ●東京都八丈島南原千疊岩海岸 2024-11-9 坂本 幸博 ●終身会員

CR

<キヌベラ> WRASSE, surge / *Thalassoma purpureum*

●オールタックル ●1.76kg ●東京都八丈島南原千畳岩海岸 ●2024-11-9 ●坂本 幸博 ●終身会員

CR

<クロハギ> SURGEONFISH, yellowfin / *Acanthurus xanthopterus*

●オールタックル ●2.40kg ●沖縄県石垣島沖 水深50m ●2024-11-9 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●ふあみりー八号

W

<ソコボウズ> CUSKEEL, pudgy / *Spectrunculus grandis*

●オールタックル ●7.55kg ●静岡県駿河湾水深2400m ●2024-10-26 ●小塙 拓矢 ●個人会員 ●第8寿広丸

<エンマゴチ> CROCODILE, fish / *Cymbacephalus beauforti*

●オールタックル ●1.23kg ●鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 ●2024-11-8 ●重武 凪 ●ファミリー会員

<ボラ> MULLET, striped / *Mugil cephalus cephalus*

●オールタックル ●4.21kg ●千葉県南房総市富浦沖 ●2024-12-5 ●高橋 直路 ●個人会員 ●富浦漁協イカダ

<アヤタスキベラ> WRASSE,redback longface / *Hologymnosus rhodonotus*

●オールタックル ●0.46kg ●沖縄県粟国島沖 水深100m ●2024-12-1 ●坂本 幸博 ●終身会員 ●はなぶさ

<キビレハタ> GROPER, snubnose / *Epinephelus macrospilos*

●オールタックル ●0.56kg ●沖縄県中頭郡北谷海岸 ●2024-12-7 ●坂本 幸博 ●終身会員

CR

<スミツキハタ> GROPER,one-blotch / *Epinephelus melanostigma*

●オールタックル ●0.62kg ●沖縄県中頭郡北谷海岸 ●2024-12-8 ●坂本 幸博 ●終身会員

CR

<リュウグウベラ> WRASSE,christmas / *Thalassoma trilobatum*

●オールタックル ●0.69kg ●東京都八丈島南原千畳岩海岸 ●2024-12-21 ●坂本 幸博 ●終身会員

CR

<イケカツオ> QUEENFISH, doublespotted / *Scomberoides lysan*

●オールタックル ●1.73kg ●沖縄県宮古島市 ●2024-12-30 ●永間 智明 ●個人会員

<インドカイワリ> TREVALLY, barcheek / *Carangoides plagiotaenia*

●オールタックル ●1.68kg ●沖縄県久高島沖 ●2024-12-30 ●東城 崇志 ●個人会員 ●Fishing Guide K701



諫山 績香<クロヒラアジ 1.26kg>
回遊中のキャストが決まり、ファーストラン
が勢いよく楽しめた。丸々としていて、餌が
豊富であったことも分かって嬉しかった



浅野 俊吾 <ナミハタ 0.60kg>
2本の針のエサをシバエビにして、ベタ
底を攻めたら何か魚がヒット！ あまり
引きは強くないが重い。釣り上げて
見たら初めての魚



浅野 法子 <ヒメテングハギ 0.60kg>
強めの当たりと引きがあったので、何が
釣れているのかワクワクした。目と小さ
な角が特徴的で、初めて釣った魚だっ
たので嬉しかった



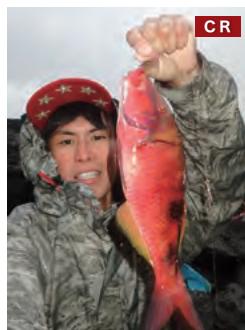
浅野 法子 <ヒメテングハギモドキ 0.55kg>
やや強い引きがあり、何が釣れている
のかと思っていたら、狙っていた魚が上
がってきたのでとても嬉しかった



坂本 幸博 <コクハナハタ 0.48kg>
北東の風が強く波が高い中、遠くには
行けず近場のポイントを丹念に探って
いたところ、微妙な魚信を見極めてアワ
セた。重みを感じさせながら上がってき
たのは、初めて見たハタ



西野 勇馬 <イラコアナゴ 0.70kg>
数年前に出した記録をやっと再び更新する事ができま
した。本種は細長い体形から重量が少ない事が多かつ
たので、今回は更新できてよかったです



坂本 幸博 <オジサン 0.48kg>
雨で撒き餌が使えず、付け餌だけで釣
りをしたが、寄せ餌なしでも魚が集まっ
た。終了間際に、重みは少ないがよく動
き回る魚がヒットし、30cm程のオジサ
ンをキャッチ。体高があり良型だった



小塙 拓矢 <ソコボウズ 7.55kg>
死なせてしまった以上、世界記録の華をそえたい



坂本 幸博 <アヤタスキベラ 0.46kg>
一投目から8号ハリスが切れ。その後
も良型がヒットしても切られ、根に潜ら
れ、シャークアタックと散々。沖上がり
30分前にこの鮮やかな魚が顔を見せ
てくれた



坂本 幸博 <スミツキハタ 0.62kg>

キビナゴを足元に落とすと、陰から魚が素早く現れた。波と共に苦戦しつつも、最終的に30cmのハタを釣り上げた。常に油断禁物であると再確認したファイトだった



坂本 幸博 <リュウグウベラ 0.69kg>

オキアミを投げたところ、すぐにリュウグウベラらしき魚が現れたが、ソウシハギが多くて苦戦。場所を変えた結果、良いアタリがあり釣り上げることができた



永間 智明 <イケカツオ 1.73kg>

フィッシュマンのBC4 6.10 MXHでの初ヒットがこの魚だった



東城 崇志 <インドカイワリ 1.6kg>

久しぶりのぬ海況であったが魚の活性は低く、苦戦したなかでの嬉しい釣果であった

<シロクラベラ> TUSKFISH, Blackspot / *Choerodon schoenleinii*

●オールタックル ●1.26kg ●沖縄県竹富島沖 ●2025-1-2 ●坂本 幸博 ●終身会員 ●Michelle

<ウメイロ> SNAPPER, Yellowtail blue / *Paracaeo xanthura*

●オールタックル ●0.96kg ●沖縄県慶良間諸島沖 水深70m ●2025-1-5 ●坂本 幸博 ●終身会員 ●はなぶさ

<アマミフエフキ> EMPEROR, trumpet / *Lethrinus miniatus*

●オールタックル ●2.25kg ●沖縄県慶良間諸島沖 水深70m ●2025-1-5 ●坂本 幸博 終身会員 ●はなぶさ

<ツッパリサギ> SILVER-BIDDY, strongspine / *Gerres longirostris*

●オールタックル ●1.38kg ●沖縄県宮古島市来間島 ●2025-1-13 ●永間 智明 ●個人会員

<マルバラユメザメ> DOGFISH, portuguese / *Centroscymnus coelolepis*

●オールタックル ●4.05kg ●神奈川県根府川沖推進900m ●2025-1-11 ●西野 勇馬 ●ファミリー会員 ●H2O

<イトヒキオキハギ> TRIGGERFISH, hairfin / *Abalistes filamentosus*

●オールタックル ●1.35kg ●沖縄県石垣島沖 水深50m ●2025-1-14 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●ふあみりー八号

W

<オキアジ> JACK, whitetongue / *Uraspis helvola*

●オールタックル ●0.90kg ●沖縄県名護湾沖 水深50m ●2025-1-17 ●浅野 俊吾 ●ファミリー会員 ●りょう丸

<ヨゴレアオダイ> SNAPPER dirty ordure / *Paracaeo sordida*

●オールタックル ●0.70kg ●沖縄県名護湾沖 水深100m ●2025-1-19 ●浅野 俊吾 ●ファミリー会員 ●りょう丸

<ユカタハタ> HIND, coral / *Cephalopholis miniata*

●オールタックル ●1.28kg ●沖縄県宮古島市平良港 ●2025-1-25 ●永間 智明 ●個人会員

ALL TACKLE LENGTH RECORD <オールタックル・レングスレコード>

<ヒラスズキ> SEABASS, blackfin / *Lateolabrax latus*

●レングスレコード ●82cm(叉長) ●愛媛県西宇和郡伊方町 ●2024-11-30 ●首藤 康裕 ●個人会員

AL TR



首藤 康裕 <ヒラスズキ 82cm(叉長)>
JGFA×VARIVAS シーバスC&R フォトコンテスト 2024 近畿&山陽&四国部門
で、1位入賞!



ALL TACKLE FLY LENGTH RECORD <オールタックル・フライ・レンジスレコード>

<ボラ> MULLET, striped / *Mugil cephalus cephalus*

●フライ・レンジスレコード ●60cm(又長) ●山口県山口市今津川 ●2024-9-30 ●田村 純一 ●個人会員

FAL CR



田村 純一<ボラ 60cm(又長)>
ボラがチャムを着水音で追い始めたら、
フライで水面強打。先頭のデカい個体
が食った

JUNIOR RECORD <ジュニア日本記録>

<ドクウツボ> MORAY, giant / *Gymnothorax javanicus*

●M/ジュニア ●12.40kg ●鹿児島県奄美市住用町 和瀬海岸 ●2024-10-7 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<ハリセンボン> PORCUPINEFISH, longspine / *Diodon holocanthus*

●M/ジュニア ●0.91kg ●鹿児島県奄美市住用町 和瀬漁港 ●2024-10-13 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<アミメウツボ> MORAY, highfin / *Gymnothorax pseudothyrsoideus*

●M/ジュニア ●2.53kg ●鹿児島県大島郡龍郷町 番屋漁港 ●2024-10-17 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<オグロオトメエイ> WHIPRAY, pink / *Himantura fai*

●M/ジュニア ●2.72kg ●鹿児島県奄美市 城海岸 ●2024-10-26 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<エンマゴチ> CROCODILE, fish / *Cymbacephalus beauforti*

●M/ジュニア ●1.23kg ●鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 ●2024-11-8 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<テンジクイサキン> CHUB, blue sea / *Kyphosus cinerascens*

●M/ジュニア ●1.41kg ●鹿児島県大島郡瀬戸内町久根津 ●2024-11-7 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<ロウニンアジ> TREVALLY, giant / *Caranx ignobilis*

●M/ジュニア ●1.74kg ●鹿児島県大島郡瀬戸内町久根津 ●2024-11-7 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<カスミアジ> TREVALLY, bluefin / *Caranx melampygus*

●M/ジュニア ●0.51kg ●鹿児島県大島郡瀬戸内町久根津 ●2024-11-7 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<ギンガメアジ> TREVALLY, bigeye / *Caranx sexfasciatus*

●M/ジュニア ●3.02kg ●鹿児島県大島郡瀬戸内町久根津 ●2024-11-7 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<クエ> GROPER, longtooth / *Epinephelus bruneus*

●M/ジュニア ●15.40kg ●鹿児島県奄美大島沖 ●2024-12-29 ●迎里 愛翔 ●ジュニア会員 ●オーシャンバイオニア丸

J



重武 凪
<ドクウツボ 12.40kg>
いつもより引くー。大物やー。踏んばる
のが大変でサオが折れるかと思った



重武 凪
<オグロオトメエイ 2.72kg>
砂地なので踏んばるのが大変だった



迎里 愛翔 <クエ 15.40kg>
強い竿とリールを使ったので糸を少し
も出さずに釣り上げることができた。初
めて釣ったが、次はもっと力が強い大き
なクエと勝負してみたい



重武 茉奈香
<ギンガメアジ 2.18kg>
めっちゃ引いて、びっくりした

<アミメウツボ> MORAY, highfin / *Gymnothorax pseudothyrsoides*

●W/ジュニア ●1.43kg ●鹿児島県大島郡龍郷町 番屋漁港 ●2024-10-17 ●重武 茉奈香 ●ファミリー会員

J W

<ギンガメアジ> TREVALLY, bigeye/ *Caranx sexfasciatus*

●W/ジュニア ●2.18kg ●鹿児島県大島郡瀬戸内町久根津 ●2024-11-7 ●重武 茉奈香 ●ファミリー会員

J W

<ミナミクロダイ> SEABREAM, Okinawa / *Acanthopagrus sivicolus*

●W/ジュニア ●2.12kg ●鹿児島県大島郡瀬戸内町久根津 ●2024-11-7 ●重武 茉奈香 ●ファミリー会員

J W

METER OVER CLUB<メーターオーバークラブ>

<アカメ> LATES, Japanese / *Lates japonicus*

●M-60kg(130lb)クラス ●128.5cm(全長) ●高知県高知市舟入川 ●2024-11-27 ●前田 尚俊 ●個人会員

TR



前田 尚俊

<アカメ 128.5cm(全長)>

夕まずめ、水温14.5度、横風が吹き始め、フィールドには自分一人。魚はエラ洗いせず、20分間のファイト。約70メートル下流に走り、入水してタモでランディング。魚体の重さで指が痙攣し、仲間に計測を手伝ってもらった。ランディングした時の大きさに感動と驚きを覚えた。

「メーターオーバークラブ」の計測方法変更

この度、淡水魚の大型種を対象とした「メーターオーバークラブ」の申請における計測方法が変更となりましたことをお知らせいたします。これまで魚の全長での申請が必要でしたが、今後は「叉長計測」に変更されます。この変更の理由として、魚の全長の計測方法が多様であり、正確な計測が難しいためです。叉長計測はIGFAのルールに基づいており、4月1日以降に釣った魚から適用されます。なおアカメ、カムルチー、ビワコオオナマズのようなラウンドテール(うちわ型)タイプの魚は、尾びれの最末端部で計測し、この全長計測はIGFAレングスレコードの計測方法に準じます。

●申請対象魚種:

コイ、ソウギョ、アオウオ、ハクレン、コクレン、カムルチー、ビワコオオナマズ、イトウ、アカメなど、叉長1m以上の淡水魚

●申請条件:

釣った魚は写真撮影後、直ちにリリースすること

●使用メジャー:

正確なメジャーを使用。オールタックルレングスレコードに相当する場合はIGFA専用メジャー必須

●申請資格:

釣った時点でJGFA会員(サポート会員は除く)であること

●メーターオーバークラブ認定の流れ:

1. JGFAに入会 (申請資格は釣った時点でサポート会員を除くJGFA会員に限る)
2. メーターオーバークラブの対象魚を釣る
3. 記録申請用の写真を撮影(下記参照)
4. 記録申請書に必要事項を記入
5. 上記写真および申請書を釣った日より30日以内にJGFA事務局に送付審査(毎月1回、原則第1火曜日の夜に開催)
6. 審査結果通知(審査日以降2～3日以内に発送)

●魚体写真とその他申請に必要な写真:

まず、正確なメジャーで魚体全体の写真を撮ります(中央)。次に、吻端部分を含む顔周りの写真(左)を撮影。最後に、尾ビレ末端の叉長の目盛り位置が分かる写真(右)を撮ります。これらの写真に加えて、
 ・釣り人本人と魚と一緒に写っている写真
 ・使用したタックル(ロッド&リール)
 ・ルアー(使用した場合)などの写真を提出してください。



オールジャパン・ゲームフィッシングコンテスト2024

ALL JAPAN GAME FISHING CONTEST

最終結果発表！



男性部門・海水
平木大士さん・カサゴ0.77kg



男性部門・海水
坂本幸博さん・マルクチヒメジ1.45kg



男性部門・海水
西野勇馬さん・ヘラツノザメ8.85kg



男性部門・淡水
竹内尚哉さん・ソウギョ22.46kg

各魚種、1位のみを掲載しました。

《男性部門・海水》

申請No	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
75	男性	アイナメ	1.50	藤原 徳行	岩手県山田町大浦	2024-05-15	15	おおうら
91	男性	アイブリ	1.45	竹村 浩昭	高知県室戸沖	2024-06-12	10	Mac's kayak
105	男性	アオチビキ	16.09	増田 大輔	東京都小笠原村母島臥牛角	2024-06-11	15	えびす丸(渡船)
94	男性	アカエソ	0.52	山岡 一信	和歌山県串本町	2024-06-20	8	ORENO KaYaK
192	男性	アヤタスキベラ	0.46	坂本 幸博	沖縄県粟国島沖 水深100m	2024-12-1	24	はなぶさ
198	男性	イカツオ	1.73	永間 智明	沖縄県宮古島市	2024-12-30	15	
148	男性	イシダイ	2.63	財前 雄一郎	大分県大分市在坂ノ市沖 縦一文字	2024-10-18	4	
90	男性	イズカサゴ	1.78	山岡 一信	福井県越前町	2024-06-10	24	ORENO KaYaK
119	男性	イトエフキ	0.48	山岡 一信	和歌山県串本町	2024-08-02	10	ORENO KaYaK
167	男性	イラコアナゴ	0.70	西野 勇馬	神奈川県真鶴沖	2024-10-27	24	H2O
200	男性	インドカイワリ	1.68	東城 崇志	沖縄県久高島沖	2024-12-30	15	Fishing Guide K701
139	男性	ウメイロモドキ	0.49	坂本 幸博	沖縄県宮古島東平安名崎沖 水深約30M	2024-09-01	15	Sea-son'S 新静丸
58	男性	オオフエキ	1.20	坂本 幸博	沖縄県宮古島東平安名崎沖水深70m	2024-04-21	15	Sea-son's 新静丸
83	男性	オオモンハタ	2.97	永見 昭太	愛媛県南宇和郡愛南町	2024-06-02	10	ポートエース
168	男性	オジサン	0.48	坂本 幸博	東京都八丈島南原千疊岩海岸	2024-11-9	24	
71	男性	オジロバラハタ	1.25	浅野 俊吾	鹿児島県喜界島荒木沖	2024-05-10	24	レオンII
141	男性	オビヅダイ	1.18	坂本 幸博	鹿児島県屋久島永田堤防(30m程投げ、タナ上から6m程)	2024-09-07	24	
1	男性	カサゴ	0.77	平木 大士	長崎県五島列島防波堤	2024-01-16	15	
129	男性	カンバチ	0.54	菊池 晃成	岩手県宮古港	2024-09-01	15	
196	男性	カンムリベラ	2.24	坂本 幸博	東京都八丈島南原千疊岩海岸	2024-12-21	24	
63	男性	ギスカジカ	1.16	菊池 晃成	岩手県宮古港	2024-04-27	8	
2	男性	キチヌ	1.15	田村 茂一	山口県周南市富田川	2024-01-06	3	
169	男性	キヌベラ	1.76	坂本 幸博	東京都八丈島南原千疊岩海岸	2024-11-9	24	
193	男性	キビレハタ	0.56	坂本 幸博	沖縄県中頭郡北谷海岸	2024-12-7	24	
115	男性	クロソイ	0.73	菊池 晃成	岩手県宮古港	2024-07-18	6	
70	男性	クロダイ	0.50	木下 建作	長崎県川棚港	2024-05-11	10	
40	男性	クロヒラアジ	2.84	松本 利幸	沖縄県宮古島	2024-03-30	8	
54	男性	クロメジナ	0.55	由岐 直久	高知県土佐清水市	2024-04-25	1	
158	男性	コクハンハタ	0.48	坂本 幸博	沖縄県糸満沖 水深60m	2024-10-20	24	はなぶさ
16	男性	サガミザメ	2.40	西野 勇馬	神奈川県小田原沖	2024-02-11	24	Nabura
165	男性	サザナミダイ	2.71	竹村 浩昭	沖縄県国頭村沖	2024-10-13	10	Mac's kayak
57	男性	サザナミソカハギ	0.75	坂本 幸博	沖縄県宮古島東平安名崎沖水深20m	2024-04-21	15	Sea-son's 新静丸
173	男性	サワラ	3.10	平松 雅直	大分県臼杵市大泊沖	2024-11-17	10	ひまわりレンタルポート3号
122	男性	シイラ	0.71	田村 茂一	島根県浜田市沖	2024-07-27	60	田村丸
72	男性	シマフグ	1.28	山岡 一信	福井県	2024-05-14	15	ORENO KaYaK
5	男性	シロアマダイ	3.82	児玉 昭二	愛媛県松山沖	2024-01-13	8	遊漁船 ニライカナイ
31	男性	シロダイ	2.15	坂本 幸博	鹿児島県喜界島鷲港沖水深50M	2024-03-24	15	LEONII
61	男性	スジアラ	6.02	竹村 浩昭	高知県大月町沖	2024-04-29	10	マック号(カヤック)
108	男性	スズキ	4.50	山内 一美	島根県松江市中海	2024-06-07	37	オスギスタイル
77	男性	スナガレイ	0.50	浅野 俊吾	北海道噴火湾水深15m	2024-05-22	10	ラブーン
194	男性	スミツキハタ	0.62	坂本 幸博	沖縄県中頭郡北谷海岸	2024-12-8	24	
175	男性	ソコボウズ	7.55	小塙 拓矢	静岡県駿河湾水深2400m	2024-10-26	60	第8寿広丸
135	男性	ソコボウズ	5.40	小塙 拓矢	静岡県駿河湾	2024-8-26	60	第8寿広丸
74	男性	タケノコメバル	1.78	藤原 徳行	岩手県山田湾	2024-05-15	15	おおうら



男性部門・淡水
田村紘一さん・アマゴ(サツキマス)・1.93kg



女性部門・海水
遠藤優花さん・トラフグ7.30kg



女性部門・海水
中井遙子さん・クロダイ1.90kg



女性部門・海水
浅野法子さん・タテシマフエフキ0.55kg

各魚種、1位のみを掲載しました。

《男性部門・海水》

申請No.	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
13	男性	タロウザメ	16.10	西野 勇馬	神奈川県小田原沖	2024-02-03	24	Nabura
133	男性	ダントウボウ	1.34	三上 韶平	茨城県霞ヶ浦	2024-08-24	3	
127	男性	チダイ	0.46	吉川 浩二	高知県香南市手結沖	2024-08-15	8	田村丸
55	男性	ツユベラ	0.52	坂本 幸博	鹿児島県屋久島吉田堤防	2024-04-07	24	
101	男性	テンジクダツ	1.31	鈴木 正輝	鹿児島県屋久島尾ノ間カスミノハナ	2024-06-29	24	
126	男性	トウシン	1.25	西野 勇馬	神奈川県小田原沖	2024-08-04	24	H2O
153	男性	ナミハタ	0.60	浅野 俊吾	沖縄県名護湾沖 水深40m	2024-10-21	24	りょう丸
51	男性	ナミフエダイ	11.50	小林 一利	沖縄県八重山郡と那国島沖	2024-04-06	60	第八瑞宝丸
56	男性	ナメラベラ	0.52	坂本 幸博	鹿児島県屋久島吉田堤防	2024-04-07	24	
157	男性	ニセカランハギ	1.27	坂本 幸博	鹿児島県喜界島 荒木中里海岸磯	2024-10-5	24	
109	男性	ネズミフグ	3.43	奥山 文弥	東京都三宅島	2024-07-03	6	
149	男性	バラフエダイ	4.40	前田 穂	東京都小笠原母島列島ヨツリ根	2024-9-23	24	
121	男性	ヒラマサ	1.04	田村 紘一	島根県浜田市沖	2024-07-27	2	田村丸
191	男性	ヒラメ	4.00	原澤 平	島根県隠岐の島西郷湾	2024-12-9	3	
64	男性	ブリ	9.08	竹村 浩昭	高知県四万十町沖	2024-04-06	3	マック号(カヤック)
113	男性	ヘラツノザメ	8.85	西野 勇馬	神奈川県江ノ島沖	2024-07-13	24	H2O
18	男性	ホウズキ	2.50	西野 勇馬	神奈川県小田原沖	2024-02-18	24	H2O
188	男性	ボラ	4.21	高橋 直路	千葉県南房総市富浦沖	2024-12-5	4	富浦漁協イカダ
44	男性	マダラハタ	1.10	浅野 俊吾	沖縄県石垣島沖水深60M	2024-04-11	24	ふあみりー八号
99	男性	マトフエキ	0.51	坂本 幸博	沖縄県石垣島大浜海岸	2024-06-09	24	
33	男性	マルクチヒメジ	1.45	坂本 幸博	鹿児島県喜界島鴨港沖水深50M	2024-03-24	15	LEON II
60	男性	マルコバソ	6.62	松本 利幸	沖縄県宮古島	2024-4-14	10	
3	男性	ミンサーイフエキ	0.90	浅野 俊吾	鹿児島県喜界島荒木港沖水深60M	2024-01-14	24	レオンII
130	男性	ムネダラ	10.00	小塚 拓矢	北海道浦河郡浦河沖	2024-08-06	24	ハイセイ丸
202	男性	ムラソイ	0.47	菊池 晃成	岩手県宮古港	2024-12-31	10	
22	男性	メジナ	2.80	由岐 直久	高知県土佐清水市	2024-02-03	3	
103	男性	メバル	0.46	菊池 晃成	岩手県宮古港	2024-06-30	10	
24	男性	モミジザメ	15.20	西野 勇馬	神奈川県小田原沖	2024-02-18	24	H2O
107	男性	モヨウフグ	2.14	鈴木 正輝	鹿児島県屋久島町永田防波堤	2024-07-04	24	
140	男性	モンガラカワハギ	0.96	坂本 幸博	沖縄県宮古島東平安名崎沖 水深約60M	2024-09-01	24	Sea-son'S 新静丸
59	男性	ヤエヤマフエキ	0.70	坂本 幸博	沖縄県宮古島東平安名崎沖水深60m	2024-04-21	15	Sea-son's 新静丸
152	男性	ユメウメイロ	0.75	浅野 俊吾	沖縄県名護湾沖 水深40m	2024-10-23	24	りょう丸
10	男性	ユメザメ	2.75	西野 勇馬	神奈川県平塚港	2024-01-28	24	Nabura
32	男性	ヨクシフエダイ	0.60	坂本 幸博	鹿児島県喜界島鴨港沖水深50M	2024-03-24	15	LEON II
159	男性	リュウキュウアカヒメジ	1.45	坂本 幸博	鹿児島県喜界島 荒木沖 水深60m	2024-10-6	24	天人菊
195	男性	リュウグウベラ	0.69	坂本 幸博	東京都八丈島南原干磯岩海岸	2024-12-21	24	
187	男性	ロウソウニアジ	1.49	田村 紘一	山口県富田川	2024-12-1	3	

《男性部門・淡水》

申請No.	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
179	男性	アカメ	38.15	前田 尚俊	高知県高知市舟入川	2024-11-27	60	
68	男性	アマゴ(サツキマス)	1.93	田村 紘一	山口県佐波川水系	2024-04-20	3	第二田村丸
98	男性	チャネルキャットフィッシュ	3.16	竹内 尚哉	埼玉県元荒川	2024-06-24	37	
102	男性	イトウ	1.10	前田 穂	北海道猿払川	2024-06-01	1	
82	男性	エゾウグイ	1.15	前田 穂	北海道天塩川	2024-05-05	10	
118	男性	カラフトマス	2.07	前田 穂	北海道羅臼町	2024-07-20	1	
138	男性	ギンブナ	1.97	竹内 尚哉	埼玉県荒川	2024-09-19	15	
89	男性	コウライニゴイ	2.72	高光 康仁	奈良県吉野町吉野川	2024-05-12	15	
85	男性	コクチバス	3.19	石井 勝也	福島県猪苗代湖北岸の沖合約2km地点	2024-06-10	15	スキーーターZX195c
97	男性	ソウギョ	22.46	竹内 尚哉	埼玉県元荒川	2024-06-12	37	
117	男性	タニガワナマズ	0.46	前田 穂	三重県内河川	2024-07-06	8	
67	男性	ニゴイ	1.23	平井 忠	埼玉県加須市江川中流域	2024-05-06	1	
29	男性	ニジマス	5.10	岸上 和典	芦ノ湖箱根湾	2024-03-01	3	YAMAKI
128	男性	ハクレン	11.42	竹内 尚哉	埼玉県荒川	2024-08-21	6	



女性部門・海水
諫山綾香さん・クロヒラアジ1.26kg



女性部門・淡水
酒川郁子さん・イトウ3.35kg



ジュニア・海水
迎里愛翔さん・クエ15.40kg



ジュニア・淡水
竹内あやなさん・コイ6.42kg

《男性部門・淡水》

申請No	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
172	男性	ブラウントラウト	0.95	寺本 一道	長野県犀川	2024-11-23	8	
36	男性	マルタ	2.15	竹内 尚哉	埼玉県柳瀬川	2024-03-31	4	

《女性部門・海水》

申請No	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
125	女性	アカタマガシラ	0.50	浅野 法子	沖縄県石垣島沖 水深150m	2024-07-29	24	ファミリー八号
46	女性	アズキハタ	1.75	浅野 法子	沖縄県石垣島沖水深60M	2024-04-11	24	ふあみりー八号
87	女性	アマミエフキ	2.15	浅野 法子	沖縄県国頭郡本部港沖水深90m	2024-06-05	24	りょう丸
86	女性	イケカツオ	1.20	諫山 綾香	鹿児島県奄美大島	2024-05-26	8	
45	女性	イソモンガラ	1.35	浅野 法子	沖縄県石垣島沖水深50M	2024-04-12	15	なんくるや
154	女性	オキアジ	0.55	浅野 法子	沖縄県名護湾沖 水深40m	2024-10-21	24	りょう丸
65	女性	カスミアジ	2.72	酒川 郁子	沖縄県宮古郡多良間村海岸	2024-04-04	8	
23	女性	キチヌ	0.50	中井 遥子	神奈川県横浜市横浜港	2024-03-07	3	シークロ
114	女性	クマドリ	0.50	浅野 法子	鹿児島県大島郡都城郡島沖 水深50m	2024-07-08	24	レオンII
134	女性	クロダイ	1.90	中井 遥子	神奈川県川崎市川崎区浮島沖	2024-09-08	8	シークロ
170	女性	クロハギ	2.40	浅野 法子	沖縄県石垣島沖 水深50m	2024-11-9	24	ふあみりー八号
150	女性	クロヒラアジ	1.26	諫山 綾香	鹿児島県奄美大島	2024-10-8	6	
78	女性	スナガレイ	0.50	浅野 法子	北海道噴火湾水深15m	2024-05-22	10	ラブーン
21	女性	タチウオ	0.60	浅野 法子	神奈川県中ノ瀬南沖	2024-02-25	8	第6中山丸
49	女性	タテシマエフキ	0.55	浅野 法子	沖縄県石垣島沖水深60M	2024-04-11	24	ふあみりー八号
156	女性	テングハギモドキ	0.55	浅野 法子	沖縄県名護湾沖 水深40m	2024-10-23	24	りょう丸
26	女性	トラフグ	7.30	遠藤 優花	愛知県伊良湖沖	2024-03-03	24	大進丸
88	女性	ハマフエフキ	1.15	浅野 法子	沖縄県国頭郡本部港沖水深90m	2024-06-07	24	りょう丸
50	女性	ヒトスジタマガシラ	0.50	浅野 法子	沖縄県石垣島沖水深50M	2024-04-15	24	優妃
155	女性	ヒメテングハギ	0.60	浅野 法子	沖縄県名護湾沖 水深40m	2024-10-23	24	りょう丸
48	女性	ヒレグロハタ	1.30	浅野 法子	沖縄県石垣島沖水深60M	2024-04-11	24	ふあみりー八号
96	女性	マツカワ	1.10	浅野 法子	北海道室蘭沖 水深12m	2024-06-19	24	ラブーン

《女性部門・淡水》

申請No	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
110	女性	イトウ	3.35	酒川 郁子	北海道宗谷郡猿払川河口	2024-06-10	6	

《ジュニア部門・海水》

申請No	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
162	ジュニア	アミメウツボ	2.53	重武 鮎	鹿児島県大島郡龍郷町 番屋漁港	2024-10-17	60	
180	ジュニア	エンマゴチ	1.23	重武 鮎	鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋	2024-11-8	60	
163	ジュニア	オグロオトメエイ	2.72	重武 鮎	鹿児島県奄美市 城海岸	2024-10-26	60	
183	ジュニア	カスミアジ	0.51	重武 鮎	鹿児島県大島郡瀬戸内町久根津	2024-11-7	24	
184	ジュニア	ギンガメアジ	3.02	重武 鮎	鹿児島県大島郡瀬戸内町久根津	2024-11-7	24	
199	ジュニア	クエ	15.40	迎里 愛翔	鹿児島県奄美大島沖	2024-12-29	60	オーシャンバイオニア丸
120	ジュニア	クロソイ	0.65	三浦 信太朗	岩手県宮古港	2024-07-06	6	
143	ジュニア	クロダイ	0.50	木下 和真	長崎県川棚港	2024-09-22	9.1	
181	ジュニア	テンジクイサキ	1.41	重武 鮎	鹿児島県大島郡瀬戸内町久根津	2024-11-7	24	
160	ジュニア	ドクウツボ	12.40	重武 鮎	鹿児島県奄美市住用町 和瀬海岸	2024-10-7	60	
161	ジュニア	ハリセンボン	0.91	重武 鮎	鹿児島県奄美市住用町 和瀬漁港	2024-10-13	60	
186	ジュニア	ミナミクロダイ	2.12	重武 茉奈香	鹿児島県大島郡瀬戸内町久根津	2024-11-7	24	
182	ジュニア	ロウニアジ	1.74	重武 鮎	鹿児島県大島郡瀬戸内町久根津	2024-11-7	24	

《ジュニア部門・淡水》

申請No	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
39	ジュニア	コイ	6.42	竹内 あやな	東京都柳瀬川	2024-04-13	10	
7	ジュニア	ソウギョ	15.75	和久津 晃也	埼玉県利根川/水系元荒川	2024-01-21	15	
69	ジュニア	チャネルキャットフィッシュ	4.25	加藤 涼葉	茨城県霞ヶ浦	2024-04-27	8	

JGFA フィッシングキャンプ in 東京夢の島マリーナ

子供から大人まで楽しめる釣りとアウトドアイベントが再び登場！ステージショーや各種体験、子供向けイベント、キャスティング体験など盛りだくさん。入場無料ですので、ぜひご家族や友人と一緒にお越しください。

開催日程:2025年5月11日(日)10:00~16:00

場所:東京夢の島マリーナ(東京都江東区夢の島 3-2-1)

入場料:無料

HP: <https://jgfa-fc.com/>

【イベント内容】

- 釣り・アウトドアコーナー:各種メーカーのブースで展示・販売
- ステージコーナー:JGFAアンバサダーのトークや表彰式、特別ゲスト「さかなのおにいさん かわちゃん」も登場
- フライキャスティング体験:初心者からエキスパートまで挑戦可能、資格あるインストラクターがご指導いたします
- キャスティング体験:釣りの基本「キャスティング」に挑戦！ 村田基さんも来場されます
- お子様向けコーナー:紙のお魚釣り体験、ソフィビ人形づくり、深海魚タッチ、お魚クイズラリーなど
- 水辺の安全コーナー:東京湾岸警察署の全面協力。音楽隊のステージ演奏、警察車両や専用ジェットスキーの展示、警察艇の乗船体験なども
- グルメキッチンカー:爽やかな季節に、マリーナでアウトドアランチを楽しめます
- カジキ釣りクルーザー乗船体験:実際に釣りに使われているビッグゲーム・ボートに乗ってみよう！
- 東京湾クルージング体験:首都の景色を海から楽しむ短時間クルーズ
- スタンプラリー:全てのコーナーをまわると景品がもらえます！



ASSOCIATE MEMBER LIST

贊助会員メンバーズ・リスト



ユニコン エンジニアリング(株)



贊助会員募集

「いい釣りをいつまでも。」をスローガンに、スポーツフィッシングの普及を目指すJGFAをぜひサポートしてください。

- 特典 1.贊助会員主催のイベントを後援します。(ただし後援規定に基づくイベント)
 2.実費プラス手数料で、会社パンフ、アンケートなどを会員に発送するDMサービスをご利用いただけます。
 3.JGFAイヤーブックに紹介記事が載ります。
 4.JGFA NEWS(年4回発行の会報)とホームページにロゴマークが載ります。
 5.代表者と担当者の2名は、JGFA及びIGFAの会員として登録されます。
 6.JGFA主催イベントへの参加を優遇いたします。

会費 1口 100,000円(1口以上)

備考 代表者と担当者以外で、会員登録を希望する企業内の方は、年会費6,000円を加算いただければクラブメンバーと同様の特典が得られます。

問い合わせ先:JGFA事務局 ☎03-6280-3950

タグ購入代金カンパにご協力を

皆様がお使いのアンカー式スパゲティタグもタートタグSも、協会が購入する原価でセットあたり4000円します。年間250セットほど皆様に配布いたしますので、単純計算で100万円、ちょっとした金額です。そこで皆様にお願いです。クラブ主催のトーナメント、パーティ、忘年会などの機会を捉えて募金箱を回し、「タグ&リリース活動資金カンパ」を行っていただけませんでしょうか。もちろん、個人や企業の皆様からのご寄付もよろこんでお受けいたします。ゲームフィッシュの生態解明のため、釣り人ができる大きな貢献であるタグ&リリースをこれからも継続し、私たちが資源保全に真剣であることを示すため、ぜひご協力をお願いたいたします。お振込先の情報は以下のとおり、なにとぞご検討を。

銀行名:みずほ銀行 恵比寿支店
 口座名:「タグ アンド リリース活動資金」
 口座No:(普)1561275

タグ&リリース寄付者リスト

タグ&リリース活動資金にご寄付いただきましてありがとうございました。
 心よりお礼申し上げます。引き続き募集しておりますので、
 ご協力くださいますよう、お願いたします。(順不同・敬称略)

タグ&リリース寄付者リスト		
2024/12/9	武田 一男(正会員)	3,000
2024/12/18	渡邊清一郎 (MARLIN BUSTERS)	6,000
2025/12/20	小西 雅樹 (SPLASH)	30,000
2025/12/23	高筒 敦彦(ブルーウィンド)	36,500
2025/1/9	金子 新(レギュラーメンバー)	5,000
2025/1/27	クラブビッグワンズ	20,000
2025/2/6	渡邊清一郎 (MARLIN BUSTERS)	6,000
2025/2/12	長舗 毅一郎 (TRUE BLUE Fishing Club)	19,000
		合計:125,500